

# ガッツだぜ、与野高魂!!

第33号 令和6年 7月19日

by 与野高応援団編集部

## ◆バトン部

バトン部は6月30日(日)に開催された全国高等学校ダンスドリル大会の関東大会に出場しました。3年生4名(大畑奈々葉(3-2)、小菅真依子(3-5)、春山日和(3-3)、岩本心愛(3-2))と2年生2名(細貝実杜(2-4)、村上友香(2-8))の計6名が出場し、全国大会出場を果たしました。全国大会は7月27日(土)に実施されます。全国大会をもって3年生は引退の予定となりますが、全国の舞台まで精一杯練習を重ねていきます。応援よろしくお願ひします。

(篠原里恵先生)

## ◆フェンシング部

関東大会は男女団体女子個人全てで1回戦敗退となってしまいましたが、その後に行われた北関東選手権大会埼玉県予選会では女子エペ団体(原田倅花(3-9)・小林結菜(3-8)・岡村誌磨(3-9)・眞貝花音(3-9))が2位、女子フルーレ個人で原田が2位、女子エペ個人で原田が4位、小林が5位、眞貝が6位に入賞しました!上記の選手は、8月に群馬県沼田市で行われる北関東選手権の出場権を得ました!!(関亮太先生)

## ◆剣道部

### インターハイ県予選会個人

5月31日(金)にインターハイ県予選会(男女個人)が、所沢市民体育館で行われました。この大会は、各校男女それぞれ2名のエントリーで、優勝・準優勝の上位2名が、個人としてインターハイの出場権を獲得します。

結果は、男子 小菅秀虎(3-8) 1回戦敗退

関仁平(2-1) 2回戦敗退

女子 毛利紗希(2-2) 1回戦敗退

小野千陽(2-7) 4回戦敗退(ベスト32) でした。

組み合わせの関係で、4人とも初戦より厳しい戦いが続き、どちらが勝ってもおかしくない試合ばかりでしたが、その中でも女子の小野が一本取られても粘り強く戦い4回戦まで進出しました。4回戦では今大会で優勝した中村選手(本庄第一)と対戦し敗れましたが、見事ベスト32に入ることができました。練習の成果が結果に結びついた大会でした。

この勢いを団体戦に繋げ、与野高剣道部頑張ります!

### インターハイ県予選会(団体)

インターハイ県予選会の団体戦が、6月17日(月)に女子、18日(火)に男子が、県立武道館で行われました。

結果は、女子団体 1回戦 与野0-4 昌平

男子団体 1回戦 与野3-1 坂戸

2回戦 与野3-1 所沢

3回戦 与野0-5 山村学園 でした。

女子は、前回の県大会で3位の昌平と初戦からあたってしまい組み合わせも厳しかったのですが、諦めず粘り強く戦い、1本になりそうな技が随所にみられました。特に次鋒・中堅・副将は、試合時間をフルに使っての試合で焦らず戦えたことの成果だったかと思えます。女子は、全員1・2年生なので、この経験を次に活かしてもらいたいです。



男子は、1回戦の坂戸戦、2回戦の所沢戦ともに実力的には同じで、勝つか負けるかやってみないと分からない試合でしたが、先行されても落ち着いて逆転するなど、取れるところで着実にポイントを重ね、勝利することができました。3回戦では前回の県大会で3位の山村学園と対戦しましたが、巧みな試合運びでポイントを挙げられ、経験の差を感じた敗戦となりましたが、堂々のベスト32という結果を残すことができました。

選手たちは、これまでの大会以上に「勝ちたい!」という気持ちを前面に出し、応援の部員も含めて気持ちを一つにして戦えた大会でした。試合終了後は、すがすがしさと笑顔が見られました。

この大会を迎えるにあたり、お忙しい中、OBの先輩や保護者の方にも稽古に来ていただきました。これまで多くの方のご支援、ご声援をいただけたこと、本当に感謝です。ありがとうございました！（津坂宗秀先生）

## ◆女子バスケットボール部

### インターハイ予選ベスト32

インターハイ南部支部予選2回戦は開智高校と対戦。この試合はベンチメンバーが全員出場。特にチームを支えてきた滝川翠（2-9）が3P2本を含む25得点と活躍。96対15で勝ち、代表決定戦にコマを進めた。

代表決定戦では武南高校と新人大会、関東予選に次いで3度目の対戦。前回の試合では延長でなんとか競り勝った相手で、今回も厳しい戦いが予想された。試合は一進一退。インサイドの成田杏珠（2-1）が、2個目のファウルで交代。しかし、白尾莉紗（1-9）がリバウンドや得点で活躍。岡田璃々亜（2-6）のシュートも決まり、17対11でリード。2ピリは涼梨華（2-1）、栗原咲菜（2-4）が3Pを決めて、31対19で試合を折り返す。後半は我慢の展開。特に終盤で相手のプレッシャーに苦しむ場面もあったが、52対46で勝利。相手のエースを8点に抑えるという、ディフェンスが光った試合で、県大会につながる試合であった。

県予選1回戦は前回の大会で関東大会に出場した、第4シードの朝霞西とあたることに。苦戦が予想されたが、それを覆して健闘。主将の田澤葵（3-9）が3Pを決めて先制。その後も、ガードの品川紗良（2-3）を中心に相手のプレッシャーをかわし、要所でシュートが決めて、18対17でリード。2ピリも栗原の3Pが良く決まって食らいついたが、中盤から離され、24対39でリードされる。後半はこちらのゾーンディフェンスがうまくいって、相手にリズムを掴ませず、3ピリは同点、4ピリは1点リードするなど、こちらが思うゲームをつくることができたが、力及ばず53対67で敗退。

「良いゲームができ、まさに1年間の総決算という感じの試合でした。特に田澤は頑張りました。3年生1人で、後輩たちを良くまとめ、良いチームを作ってくれました。この経験は彼女にとってかけがえのないものであると思っています。試合には負けはしたものの、彼女はある意味、勝利者であったと考えています。私もいろいろ経験させてもらいました、ありがとう。」

（田嶋武司先生）

## ◆バレーボール部

先日(5/26)、岩槻文化公園体育館にて全国高等学校総合体育大会埼玉県南部支部予選会(インターハイ予選)がありました。緊張から自分たちのプレーができずあっという間に敗退だった春季大会を終えてから、悔しい思いを胸に約2か月間チームを作ってきました。与野高校バレーボール部の初戦の相手は、上尾鷹の台高校でした。

与野 2-1 鷹の台

(19 -1st- 25)

(25 -2nd- 21)

(27 -3rd- 25)

試合の序盤は相手の粘り強いレシーブもあり、第1セットを取られましたが、春季大会の姿は一切なく、しっかり第2セットを取り返すことができました。最終セットの序盤は10-2と大きくリードする展開でした。緊張に押しつぶされる場面もあり、デュースまでもつれるセットとなりました。大事な場面で田口侑果(3-2)のブロックが決まり、流れは与野高へ。相手のミスにより転がってきたチャンスを加藤里奈(1-6)がレシーブし、川原崎菜々美(3-9)のトスから最後は中谷優月(2-6)がしっかり決め切り、勝利へとつなげることができました。

与野 0-2 大宮

(12 -1st- 25)

(10 -2nd- 25)

勝てば県大会出場が決まる代表決定戦。相手はシード校の大宮高校でした。試合序盤から相手の高さ、早さに圧倒されました。杉本和花奈(3-2)のサーブが決まるなど、なんとか食い下がる場面もありましたが、県大会の壁は厚く敗退となりました。ただし、自分たちのプレーを存分に発揮できての敗退となり、次の代につながる充実した試合となりました。そして、この大会において3年生はとて素晴らしいものを後輩たちに残してくれました。

3年間様々なことを乗り越えてきた杉本和花奈、田口侑果、川原崎菜々美の3人の選手、そしてマネージャーとして部員を支え続けてくれた笠原里緒子(3-2)。この結果につながったのも、この4人の3年生の大きな成長があつてのことだと思います。本当にお疲れさまでした。

(黒澤富士子先生・高石昂先生)



## ◆新体操部

7/15(月)彩の国くまがやドームにて、埼玉県高等学校新体操選手権大会が行われました。与野高校からは井岡七海(3-6)、村山乙葉(2-2)、中島光里(1-8)の3名が出場しました。

3年の井岡にとっては、最後の公式戦。映画「アナと雪の女王」の曲にのせて、優雅に力強くリボンの演技をし、7.95点をいただきました。丁寧さが特徴の選手ですが、最近は表現力も備わり、芸術点と実施点で評価されました。入部当初から少数の中での活動で、部員が1人となった時期もありましたが、これまでコツコツと努力を続けてきたことが、自身最高得点という成果となってあらわれました。

2年の村山はのびのびとした演技が持ち味の選手です。恵まれた脚力を生かし、今回も大きく演技することができました。また、1年の中島はデビュー戦となりましたが、大会を経験することで、大きく成長したと思います。

9月には文化祭での発表や南部地区大会が控えています。暑い夏の練習を乗り越えて、成長できることを期待しています。(松崎睦美先生)

## ◆女子バドミントン部

7/13(土)、14(日)に行われた令和6年度埼玉県会長杯争奪高等学校バドミントンシングルス大会に出場しました。

自由参加の大会ですが、与野高校からは深井ゆり花(1-3)、塚田結羽(1-6)、江川優里(1-7)の3人が出場しました。上級生も混じる中、3人とも最後まで諦めずに良い試合展開ができていました。惜しくも2、3回戦で敗退となりましたが、良い経験となったと思います。まず大会にエントリーしようと思った積極性、そして試合後にしっかりと悔しがっていた姿を見て、この先の彼女らに期待せずにはられません。夏には新人戦もあるので、まずはそこに向けてしっかりと頑張っていってほしいです。(加藤尚文先生)

\* \* \* \* \*

### 夏休みに向けて(熱中症対策)

運動部・文化部とも、夏休みは活発に練習や練習試合、公式戦等が予定されていると思います。梅雨明けに伴い、猛暑になるとの予報。熱中症の危険度が高まります。各自備えを怠りなく!!

### 1. 早めの水分補給!「乾いた」と思ったらもう遅い!

熱中症予防の第一は上手なクールダウン。特に水分補給は何より重要です!「乾いたなあ」と思った時には、身体が警鐘を鳴らしています。「乾いた」と思う前に早めの水分補給を!例えば家を出るとき、また活動の開始前など、まずは水分補給!

### 2. クールダウン用にピロティ脇「小会議室」を利用できます!

例年、クールダウン用にエアコンを使用できる部屋(小会議室)を用意しています。危険を感じる前に早めに利用しましょう。利用の際は顧問の管理が必要ですので、まずは顧問に申し出る。

### 3. 塩分の補給も重要です!

基本は食事を規則正しくとること!それでも足りない分は、塩飴等の準備を考えましょう!

それでは皆さんと一緒に、

# ガッツだぜ、与野高魂!!